まなべ

校訓　健康　勤労　協和

元気と夢を育む真鍋小学校

学校便り　No.４
土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）
令和５年９月１３日（水）
文責　近藤　恒重

２学期スタート

残暑きびしい日が続いていますが，いよいよ２学期が始まりました。長い休みでしたが，有意義な夏休みを過ごすことができたでしょうか。休み中には、お祭りなど４年ぶりに行事が再開された地区もあり、楽しそうに参加する子ども達の姿を見ることができました。気持ちを新たに，２学期も，学習に運動に精一杯チャレンジしてほしいと思います。

さて，１日の始業式では，３年生と５年生の児童から「２学期にがんばりたいこと」について発表がありました。目標達成に向けてがんばってほしいと思います。校長からは「２学期がんばってほしいこと」として２つのことを子ども達に投げかけました。１つめは、学級の友達のいいところ見つけて、みんなで認め合い、２学期の終わりには学級の友達全員のいいところが言えるようになってほしいということ。２つめは今の段階でいいので将来の夢や希望を持って、それをかなえるために１日１日努力することです。ぜひ子ども達には、心許しあえる学級で、短期的な目標や将来の夢や希望の実現に向けて、充実した毎日を送ってほしいと思います。

「まなべ防災の日」

９月８日（金）には「まなべ防災の日」として、シェイクアウト訓練，２・４・６年生で防災教室等を行いました。朝７時 40 分頃、登校中に大きな地震が発生したという想定で，自らの命を守るための避難行動をとることを目標にシェイクアウト訓練を実施しました。当日は台風１３号の接近に伴う雨で、避難行動の説明しかできなかった地区もありましたが、子ども達の登校中の避難に対する意識を高められたのではないかと思います。当日実際台風の接近中に地震が発生し注意を促される地域も国内にはあり、災害はいつ起きるかわからないということも実感させられました。地区委員，育成会役員、校外指導委員，PTA 本部役員等保護者の皆様・地域の皆様にご協力いただき，安全面に配慮しながら訓練を行うことができました。ありがとうございました。そのほかに、２年生は土浦女性消防団の方々をお迎えし、クイズやスライドを使って防災について楽しく学習しました。４年生は茨城県防災士会の方々をお迎えし、防災グッズとして新聞紙でスリッパを作り、６年生は市役所の危機管理課の方をお迎えし土浦市の災害の歴史やハザードマップ，避難の仕方等について学習しました。

全国様々な地域で災害が起こっています。茨城県も例外ではなく、災害を防ぐ意識、自分の身を守るためにはどうするかという意識を子ども達にはこれからも持ち続けてもらいたいと思います。

校長室より

９月８日（金）は、上述したように台風が接近していました。当初子ども達だけで下校班で下校させることを考えていましたが、１２時頃には雨風が強まっており子ども達だけで下校させることは危険と判断し、保護者の方々にお迎えお願いいたしました。保護者の皆様には急なお願いで申し訳ありませんでした。また、真鍋４丁目の皆様、学校周辺の地域にお住まいの皆様には急に渋滞が発生し特にご迷惑をおかけいたしましたこと心よりお詫び申し上げます。台風、線状降水帯、地震などによる災害はこれからも起きる可能性があります。それによって、学校から子ども達を家に帰すときに危険だと判断される場合は、保護者の皆様にお迎えをお願いすることになります。その判断は何日も前に告知できるものではなく、むしろ急に判断することが多いと思われます。お迎えの連絡が届いた際にはご協力お願いいたします。また、この紙面を読んでくださっている、学校周辺にお住まいの皆様、真鍋四丁目の皆様には、学校が保護者の迎えを要請したかどうかをお知らせすることは現在難しい状況でありますが、学校周辺に渋滞ができるだけ発生しない方法を考えてまいりますので、ご理解、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。